

(創刊号)

安全だより

～気のゆるみ 慣れと油断が 事故のもと～

○発行日：平成 30(2018)年 9 月 20 日

○発行者：公益社団法人

伊勢原市シルバー人材センター
安全管理委員会

〒259-1131 伊勢原市伊勢原 2 丁目 7 番 31 号

電話:0463-92-8801 FAX:0463-92-0008

E-mail:isehara@sjc.ne.jp

「安全だより」の発行にあたって

当シルバー人材センターには、平成 30 年 9 月 1 日現在で 826 名の会員登録があり、多くの会員が地域で活躍しています。

会員の皆さんが、事故なく怪我なく仕事をし、楽しいシルバー人生を送っていただくため、何かのお役にたてばと考え「安全だより」を発行することとしました。

まずは、自身の健康や怪我などに十分留意していただき、会員が一丸となって、地域にとってなくてはならないシルバー人材センターにしていきたいと思っています。



▼当センターでのシルバー保険の対象となった事故・怪我

種別	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(4~8 月)
傷害事故	2 件 ・上腕二頭筋の腱断裂 1 件 ・就業先への自転車走行中の車両接触 1 件	3 件 ・脚立から転落 1 件 ・ハチ刺され 1 件 ・階段での転倒 1 件	2 件 ・蜂に刺されて救急搬送 2 件
賠償事故	1 件 ・家屋外灯破損 1 件	5 件 ・飛石事故 2 件 ・カーペット汚損 1 件 ・電源コード切断 1 件 ・樹木の誤伐採 1 件	0 件 なし



★飛散防止ネットは重要！

草払い機の使用中に、飛んだ石で車両を傷つける事故が発生しています。

草払い機を使用する際には、歩行者や通行車両など周りに十分注意を払うことはもとより、飛散防止ネットの使用を徹底しましょう。



★剪定作業でもヘルメットの着用を！

枝が頭に刺さっての怪我、また、剪定した枝が頭に落下した場合など、大怪我につながる危険性があります。

剪定や草刈り作業では、安全を確保するため、ヘルメットの着用を心がけましょう。



裏面あり

スズメバチに要注意！ 蜂の活動時期は、秋まで続きます。

集団で巣をつくる蜂も、他の多くの虫と同じように、春から秋がその活動期間です。冬のあいだは活動が止まり、女王蜂以外、多くの蜂は死んでいきます。

なお、活動期間内であっても攻撃性の高まる時期と、そうでない時期が分かれています。



【スズメバチの1年】 黒：活動期間 赤：攻撃性の高まる期間

種類	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12(月)
オオスズメバチ				←————→				←————→				
キイロスズメバチ			←————→					←————→				
コガタスズメバチ			←————→					←————→				

■スズメバチに刺された場合に関するQ&A

Q：スズメバチに刺された時はどうすればいいの？

A：応急処置は以下の流れで行います。

- ① 症状の確認をする
- ② 蜂の針を抜く(ピンセットなどで取り除く)
- ③ 毒を取り除く(毒を絞り出し、流水で洗い流す)
 [注意] 口で吸いだしてはダメ！蜂の毒は水に溶けやすく、歯茎などから入り、口の中でしびれなどが発生する可能性があります。
- ④ 薬を塗る(虫刺され用の薬を塗る)
- ⑤ 冷やす
- ⑥ 医者へ行く

※ 刺されて15分ほどで「全身のじんましん、呼吸困難、意識障害」などのアレルギー反応が起こることもあり、最悪の場合は死に至ることもあります！

迷わずに救急車を呼び、一刻も早く医療機関を受診しましょう！



平成30年度「安全就業標語」及び「ヒヤリハット体験事例」の募集について

1. 主催：神奈川県シルバー人材センター連合会
2. 募集の種類
 - (1) シルバー事業における安全就業を目的とした標語
 - (2) シルバー事業における就業中及び就業途上でのヒヤリハット体験事例
3. 応募期限：平成30年11月16日(金)までに当センター事務局へ提出

※ 応募は指定様式で行います。詳しくは、当センター事務局までお問い合わせください。

【編集後記】

会員の皆さんに伝えたいことは、もっともっとたくさんありました。今後も定期的に、タイムリーな情報をお伝えしたいと思っています。

会員からのご意見なども各委員を通じてお寄せいただければ、必要に応じて「安全だより」に掲載していきます。

《安全管理委員会》

委員長 海老澤 昇
 副委員長 菊地 清秀
 委員 川上 絃光、小山 晶子
 吉田 陸雄、井部 至
 宇佐美 明、増田 静男